



なないろの思いをつなぐ
架け橋でありつづけたい

Vol.36

- 会長あいさつ
- 2023年度 労連活動報告
- 単組活動報告

対話の積み上げによる 未来を目指して

1. 2023年度を 振り返って

2

023年5月8日から新型コロナウイルス感染症の法上の位置付けが、「5類感染症」に移行されました。コロナによる影響は想定以上に長引き、甚大な危機に見舞われましたが、一定の対応力をもって適正な判断ができたのも、ひとえに労使による協力があつてのことであつたと振り返り評価します。一方で収束に伴う人手不足や依然として深刻な国際情勢もたらす、世界的な物価上昇と為替の急激な変動などによる課題は、ポストコロナにおける新たな労使関係の構築を求められています。さまざまな事情が複雑に絡み合うなか、人の持つ力やその可能性について追求をしていく時代であることを強く意識させられた1年ではなかつたでしょうか。

2023年度の活動スローガンは「創発の時代」原点と基本から共創する未来」とし、依然として不確実性の高い社会環境に置かれるなか、「労働組合はどうあるべきか」という原点と基本に立ち返り、組織の自主・自立のもと未来を共創していく意識を持つて活動を推進していくことを方針として掲げました。各種機関会議、階層別ワークショップやボランティア活動な

ど対面による形式の優位性を改めて認識しつつ、多くの活動への参加・参画をいただきました。次年度以降も、状況の変化を正しく捉え、その都度、必要となる取り組みについて議論・協議を重ね、引き続き成果につながるよう取り組んでいければと思います。

先

■生産性向上と物価高に対応していくための人に対する投資を

日、中央最低賃金審議会（厚生労働省の諮問機関）において、2023年度の最低賃金の引上げ額の目安を全国加重平均で41円とすることで決着しました。これは過去最大の引き上げ幅であり、実際に改定されれば、全国平均で時給1,002円となり、初めて1,000円を超えることとなります。ここまでも政労使会議のなかで、賃上げは新しい資本主義の最重要課題と位置付けられており、その意向を汲む形となりましたが、一方で、企業・組織における人件費の上昇が経営負担となること、その上昇分を物価などに転嫁することの難しさなどが指摘されるといった懸念の声が挙がっています。先の春季労働条件交渉においても、物価上昇分を大きく上回る一定の結果を得ることができましたが、単年としての取り組みに終始することなく、構造的な賃上げを確立し、



会長 渡邊 健志

生産性を高めていくための継続的な「人への投資」の重要性を、相互で確認できたことが肝要であると考えます。サプライチェーン全体で生み出される付加価値を適正に配分する仕組みを作り上げることが、産業・企業のも、強い日本経済全体の持続的な成長につながっていきます。労働市場における価値が今後さらに高まっていくなかで、人材を確保し、エンゲージメントを高め合うことが将来的な企業資産となることを、引き続き労使による統一的な意思として、確固たる決意をもって中長期的に取り組まれることをお願いしたいと思います。

2

■セブン&アイ・ホールディングスの
目指す未来と労働組合の役割

023年3月9日にグループ戦略の再評価に基づき、中期経営計画がアップデートされました。総合小売業からグローバルリテールグループへの転換の加速を掲げ、食を強みとした国内外コンビニエンスストア

事業（CVS事業）を成長ドライバーとし、SST事業の抜本的改革の断行、キャピタル・アロケーションプランの策定、戦略委員会の設置が発表されました。また適宜実施されているストラテジック・レビュー（事業の戦略的な見直し）によりグループ内の事業会社が売却されていますが、百貨店事業の株式譲渡交渉・契約に関しては未だ成立しないまま対応に追われております（2023年8月末時点）。グループの在り方や目指す姿、それに伴う方針により、私たち働く従業員、組合員もさまざまな影響を受け、その対応を求められています。セブン&アイ・ホールディングスがグループの持続的成長を目指すうえで、今後も必要に応じてグループ戦略は再評価され、中期経営計画は適宜アップデートされていくものと考えられます。私たち労働組合は株主と並ぶ企業の重要なステークホルダーであり、かつカウンタートパート（対等な立場の相手）です。働く組合員の皆様とご家族の安心が得られるように労働条件と職場・雇用を守り、健全な企業経営を目指す労使関係の構築を目指していかねければなりません。このことは、現代においては常に前提にあるものと同様、準備をしておかねばならないことであり、そのことに向き合うための労連組織でありたいと考えています。

2. 2024年度

活動に向けて

新

型コロナウイルス感染症の脅威が去りましたが、世界情勢は未だ混沌とした状況にあります。ポストコロナの到来に伴い、人流の勢いは加速していきます。状況や条件が著しく変化をした現状においては、調整された働き手が増幅する需要に簡単に対応することは難しいと考えられています。人への投資の必要性が高まり、賃金のほかに、働きやすさ（労働条件、環境）や働きがい（社会貢献や自己成長の実現）といった要素が満たされなければ、人材の確保は難しい時代に突入しています。これは企業・経営に課せられる問題に留まらず、私たち労働組合も、企業価値を高めるための取り組みを進めていかねばならないということなのです。歴史的なインフレへの対応で賃上げ機運が高まっている今、限られた原資を企業体質強化に必要な要素に向けられるよう、質の高い協議が求められます。「潤れた井戸から水は汲めない」という生産性運動の基本的な考え方を現代的に捉え、実践していくための組織における心合わせを常に意識した活動を推進していきましょう。

グ

■「労使は鏡」、新しい時代の新しい労使の在り方へ

グループが大きな変革の時代に直面するなか、去る2023年3月10日に創業者である伊藤雅俊名誉会長がご逝去をされました。今日までの良好な労使関係があるのもひとえに、名誉会長の深い恩愛の情によるものと考えます。商いの道に示される商人としての心得は、『信頼と誠実』という普遍の理念となつて私たちの心に宿り、脈々と流れております。ここに改めて組織を代表し、ご生前のご厚情に深く感謝するとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

「イトーヨーカドーグループに働く社員の皆さんが、はじめに物事を考え、下手でもコツコツと積み重ねてゆく誠実な社風を作ってくれたことは会社の誇れる財産であり、維持し続けていかねばならない最も大切なものです。これから先の未来は価値観の変化により、生きがい、やりがいの考え方も変わっていくでしょう。そういう時こそ労使双方が一丸となり、誠意と時代を先取りする気構えをもって問題の解決にあたり、より強固な信頼関係を作り上げていただくことが私の念願です。

あります」

（1979年イトーヨーカドー労働組合結成十周年寄稿文より）

上記はイトーヨーカドー労働組合の結成十年を記念して作成された記念誌に、当時の伊藤社長が寄せられたメッセージの引用です。もう40年以上も前のメッセージですが、グループの大きな変革の時におかれるなか、今を担う私たちに向けられて声をかけられているように感じ読み返します。「労使は鏡」という言葉はイトーヨーカドーグループの労使関係にとつての原点でもあり、時間と労力をかけて、健全に対等な対話を積み上げて作り上げてきたものです。この先の未来も、明白にさまざまな対応にあたつていかねばなりません。経営も労組も、さまざまなステークホルダーとの対話を大切に求め、積み重ねていくこと。労使は鏡であり、そのことが原点と基本であることに改めて立ち返り、対話の充実に積極的に図り、持続可能な成長と発展を目指していきたいと思えます。2024年度は大きな変革の年となります。新しい時代は自らの手で作り上げていくという自主自立の意志を示し、強い組織を目指す連帯の労連活動を推進していければと考えます。引き続き皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

2023年度 グループ労使研究会

目的	流通・サービス産業、グループの発展を目指し、グループ各社の経営幹部と各単組の中央役員が一堂に会し、生産性向上活動の推進、持続可能な社会の実現に向けた協働を目指し、共通の課題認識と知識・見識を高める場として開催する。	時間	内容
	2023年6月29日（金）13：00～17：00 終了後、労働組合役員の交流会を実施（17：30～19：00）	12：30	受付開始
開催日程	会場出席とZoomによるリモート出席の併催 会場：伊藤研修センター	13：00	開会 セブン&アイグループ労働組合連合会 事務局長 小鷲 良平
		13：10	主催者挨拶 セブン&アイグループ労働組合連合会 会長 渡邊 健志
開催方法	122名 組合役員（会場75名・Zoom24名） 会社側（会場7名・Zoom16名）	13：30	基調講演 第1部 テーマ『途上国から世界に通用するブランドをつくる ～社会性とビジネスを両立する第三の道を探して～』 株式会社マザーハウス代表 兼 チーフデザイナー 山口 絵理子 様
		14：15	休憩 ・リモート参加者から質疑応答内容の集約
参加人数		14：35	質疑応答
		15：05	休憩
		15：15	基調講演 第2部 テーマ『UAゼンセンが考える健全な労使関係について』 UAゼンセン流通部門 副事務局長 瀬戸 哲朗 様
		16：05	休憩 ・リモート参加者から質疑応答内容の集約
		16：25	質疑応答
		16：45	閉会 総括：(株) セブン&アイ・ホールディングス 代表取締役副社長 後藤 克弘 様

基調講演 第1部

講師：株式会社マザーハウス 代表兼チーフデザイナー
山口 絵理子 氏

- ▶ 学生時代の体験～留学、起業に至るまでの経緯
- ▶ ご自身の行動の信念「世界に通用するブランドを発展途上国からつくる」を実現することを目指し、マザーハウスを企業
- ▶ 代表という役割とチーフデザイナーについて
- ▶ 自社工場働く従業員との関わり方
- ▶ 店で働く従業員との関わり方
- ▶ 評価やモチベーションをどのようにイノベーションにつなげるか
- ▶ 家庭との両立について
- ▶ 社会性とビジネスを「どちらか」という視点ではなく、両立させるという考え方について



基調講演 第2部

講師：UAゼンセン流通部門 副事務局長
瀬戸 哲朗 氏

- 健全な労使関係の構築とは
UAゼンセンが大事にしているもの
「自由にして民主的な労働運動」
「4つの民主主義」「生産性三原則」
- 集团的労使関係とは
・個別的労働関係 ・集团的労働関係
※正社員以外の労働者の組織化（企業内組織率）
- 労使事前協議の重要性について
・団体交渉と労使事前協議 ・UAゼンセンの考える労使事前協議事項
・労使事前協議の意義
※インサイダー情報について
- 日常の労使の取り組み
・流通小売業特有な事前協議事項 ・合同労組について



1. 基調講演①についての感想

- ・働くことの意味・会社の存在意義・商売の本質について大変考えさせられました。ミッション・ビジョン・パッションをいかに社内でも共有し、みんなが同じ方向を向いて実現するよう努力していくか。そのためにリーダーシップ・行動がいかに重要かを考えさせられました。自身に置き換え、まず自身をWill changeしようと強く思いました。
- ・社員の評価指標に育成が割り当てられていて、その中でも全社貢献ができる方を評価されているというお話が印象に残っています。
- ・人の成長を通じて会社の成長につながっている、自分たちの商売、付加価値をお客様ニーズにスピードをもって取り組めたらいいと思いました。

2. 基調講演②についての感想

- ・働かされているのではなく意志をもって働くことが会社にとって生産性向上としても重要であるため、労使の関係性としても重要。「健全」というキーワードも経営として共感するので労使一丸で目指したい目標です。
- ・労働組合のあり方、存在意義を改めて認識いたしました。不都合な情報ほど早く、組合への情報提供を行うなどの必要性を理解することができました。

3. その他

- ・ベンチャーとして活躍されている方々の講話を聞ける機会があると嬉しいです。
- ・個人的に労使研究会への参加は初めてであり、労使で目線合わせのためにこのような機会がある事は重要だと思いました。
- ・エンゲージメントが高い企業の労働組合活動について知りたい。

■ 人事労務ウェビナー

目 的	セブン&アイグループにおける各事業会社のコロナ禍における営業概況は依然として厳しい環境におかれている。加えて、グループにおけるコーポレートガバナンスのさらなる強化が目指されているなか、経営方針として人財戦略の充実が掲げられ、今後ますます組合員を取り巻く職場環境や労働諸条件はその対応を求められていく。AI化の進捗も手伝って、各事業会社労使はすでに制度改定に取り掛かっている状況も散見されている。労使による政策制度対応をより実利の取れるものとするため、正しい知識・見識を得られるよう開催する。
開催日程	2022年12月20日（火）
開催方法	AP市ヶ谷とZoomによるリモートの併催
参加人数	24名
内 容	・ 賃金の基礎知識 ・ 賃金水準の検証 ・ 自社の賃金支払い能力の検証



■ 経営政策ウェビナー

目 的	経営環境が目まぐるしく変化をするなかで、企業・グループの持続的成長と発展を目指すために、労働組合の幹部役員は経営者以上に経営に精通し、密度の高い労使協議を進めていく必要がある。組合幹部役員を対象に、財務諸表を読み解くための研修会を開催する。
開催日程	2023年6月23日（金）
開催方法	AP市ヶ谷とZoomによるリモートの併催
参加人数	21名
内 容	・ 財務指標の見方 ・ グループの財務状況と持ち株会社の役割について ・ 経営目線で考える業績（経営目線・銀行目線・投資家目線） ・ グループの経営環境の現状について



■ グループ労使協議会

目 的	春季労働条件交渉統一闘争による上部団体方針と経営環境についてセブン&アイホールディングスとの共通認識を図り、事業会社労使での交渉に理解を求める。
開催日程	2023年2月8日（水）
会 場	セブン&アイホールディングス本社9階AV会議室
出席者	<p>【会社】 (株)セブン&アイ・ホールディングス 代表取締役社長 井阪 隆一 (株)セブン&アイ・ホールディングス 代表取締役副社長 後藤 克弘 (株)セブン&アイ・ホールディングス 取締役常務執行役員 経営推進本部長 伊藤 順朗 (株)セブン&アイ・ホールディングス 人事企画本部長 榎本 拓也</p> <p>【組合】 セブン&アイグループ労働組合連合会 会長 渡邊 健志 セブン&アイグループ労働組合連合会 副会長 北山 淳 セブン&アイグループ労働組合連合会 副会長 寺岡 泰博 セブン&アイグループ労働組合連合会 事務局長 小鷲 良平</p>
議 題	1. 2023春季労働条件交渉について 2. 手段的労使関係について 3. 労使情報交換

■ 階層別ワークショップ

■ 新任役員研修

目的	組合役員のリーダーとして、必要とされる基礎知識や活動についての考え方を、運動の歴史から学ぶ。 また得た知識や経験を単組の組織活動に繋げていく。
開催日程	【第1回】 2022年12月5日（月）～6日（火） 【第2回】 2023年5月25日（木）～26日（金）
会場	UAゼンセン中央教育センター友愛の丘
参加人数	【第1回】 8名 【第2回】 9名



第1回 集合写真



第1回 講義風景



第1回 閉校式



第2回 集合写真



第2回 かるた学習



第2回 グループディスカッション「こんな時労働組合は」発表

■ 副委員長研修

目的	組合役員のリーダーとして、必要とされる基礎知識や活動についての考え方を、運動の歴史から学ぶ。 委員長を代行する役割として経営対策に関する知識と対応を学ぶ。
開催日程	2023年5月15日（月）～16日（火）
会場	UAゼンセン中央教育センター友愛の丘
参加人数	18名



集合写真



鳥羽田副会長挨拶



模擬団体交渉

■政治活動研修

目的	労働組合の活動と政治活動の関りを学習し、単組活動において日常化を目指し、グループワークを交えたワークショップの開催により単組の組織活動に繋げていく。
開催日程	2023年4月24日（月）～25日（火）
会場	1日目：第一麹町ビル 2日目：参議院議員会館
参加人数	11名



寺岡副会長挨拶



組織内議員との集合写真



国会見学

■SDGs研修

目的	グループの社会貢献活動について理解を深め、組合役員として必要な考え方を学ぶ。単組活動としてどのように取り入れるべきか、討議・検討を実施する。
開催日程	2023年6月6日（火）～7日（水）
会場	株式会社テルベ
参加人数	16名



(株)テルベにて集合写真



【講義】グループのノーマライゼーションの取り組み



【講義】ハラスメント研修:人権啓発センター 久保村SO

■情報宣伝活動研修

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・労連内・友好労組の情報宣伝活動の研究 ・労連活動への参加求心力を高める情報宣伝活動の考案 ・次年度労連機関誌の在り方について提案する
開催日程	第1回：2023年6月 2日（金） 第2回：2023年7月14日（金）
会場	第一麹町ビル
参加人数	6名



桜井中執より労連情宣活動について



グループワーク



吉川副会長挨拶

■ ボランティア活動

■ ハートフルサタデー献血イベントボランティア

目的	ヨークベニマル労働組合が毎年参画している献血活動「ハートフルサタデー」と連携し、グループ労連全体で社会貢献活動に参加・参画する機会とする。
開催日程	2022年10月29日（土）
会場	福島県郡山市ビッグパレットふくしま
参加人数	13名 ※主幹のヨークベニマル労組参加人数は含まず

昨年は新型コロナウイルス感染症の流行により「献血協力カード」を持参し、全国の献血ルーム、移動献血バスにて献血による実施した献血実績を集計する活動を行った。今年は感染症対策としてイベントの開催をしたものの、規模を大幅に縮小した形で実施した。



全体写真



労連参加者集合写真

■ 献血活動の実績 (2022.10.29)

	200ml	400ml	合計
11:00	1人 (1本)	103人 (206本)	104人 (207本)
13:00	6人 (6本)	182人 (364本)	188人 (370本)
15:00	6人 (6本)	269人 (538本)	275人 (544本)
最終	6人 (6本)	308人 (616本)	314人 (622本)

事前協力人数 9人 骨髄バンク 40名 受付人数 344人

■ かすみがうらマラソンボランティア

目的	ボランティア活動を通じて、社会・地域貢献への意識醸成に繋げる。また、商売をさせて頂いている地域で活動を続けることで、地域の方との交流を深め、組織の社会的価値の向上を目指す。
開催日程	2023年4月16日（日）
会場	茨城県土浦市川口運動公園
参加人数	29名



参加者集合写真



役割① トイレ前誘導



役割② ゴールエリア計測チップ取り外し

■ 富士山清掃活動ボランティア

目的	社会課題解決と組織価値向上を目指した取り組みを通じて社会貢献、環境問題への啓発・意識の醸成に繋げていく。
開催日程	2023年6月15日（木）～16日（金）
開催場所	山梨県・青木ヶ原樹海
参加人数	24名



参加者集合写真



作業風景



オリエンテーション

国内ステップアップセミナー

開催目的	文化・生活・産業・労働運動について見聞し、広く見識を高め、労働組合リーダーとしての活動・業務のスキルアップを目指す。
開催日程	2023年7月3日（月）～5日（水）
開催場所	新潟県：見附市・新潟市・佐渡市
参加人数	15名
内 容	<p>【講演】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「見附市役所」による新しいモデル都市構想について ・北朝鮮による拉致被害者「曾我ひとみ氏」ご本人による基調講演 <p>【現地視察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IY丸大新潟店視察 ・トキの森公園 ・佐渡歴史伝説館 ・きらりうむ佐渡 ・史跡佐渡金山 など



見附市役所・扶馬様



丸大新潟店視察



史跡佐渡金山視察



曾我ひとみさんと集合写真



曾我ひとみさんご講演

曾我ひとみさん講演内容

《拉致当時の状況》

1978年8月12日土曜日午後7時頃、お盆の準備をするために雑貨屋に買い物に出た帰り道、後方から男性3人が並んでついてくるのを感じ、母と二人速足で帰宅していたが、突然襲いかかってきて袋に詰め込まれた。小さな船から大きな船に運ばれ、北朝鮮に渡ってきた。

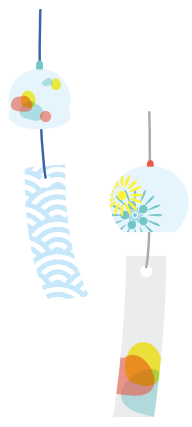
《24年の拉致生活と自分の家族について》

北朝鮮での生活はとても楽なものではなかったが、北朝鮮にいる人みんなが悪いわけではなく、組織だけが悪いということも拉致を体験した自分にしか伝えられないことである。

2002年9月小泉首相が訪朝し、日本帰国に至った。北朝鮮での24年、日本帰国後の25年間ひと時も母のことを忘れたことはないという思いは変わらず、5年前安倍首相との面会依頼、活動を進める決意をご講演の締めくくりにお話しされました。



イトーヨーカドー労働組合のありたい姿を中期目標として描いた「IY VISION 2025」。中期目標の着実な実現に向けて、ビジョンで掲げた4つの挑戦をもとに活動を組み立て、3つの基本姿勢を意識し、2023年度は取り組んできました。



2023年度の活動を推進していく基本姿勢

◇組織に活力を創出させ成長や発展を促す
 「魅力や価値を生み出す活動」
 ◇改善行為や組織堅持に繋がる
 「問題意識を持った活動」
 ◇課題の本質や現場の実態を正しく認識する
 「組合員に近づく活動」

**IY VISION 2025
 実現に向けた4つの挑戦**

挑戦Ⅰ…組織力を高める
 《新入組合員研修会》
 2023年度入社の新入社員69名を対象に開催しました。『次の100年先のIYは私たちが創る』をテーマに掲げたプレゼンテーション作品を各支部で制作いただき、当日はプレゼン発表を行っていただきました。

《新入組合員研修会2年次・3年次》
 入社2年目、3年目の社員を対象にそれぞれ別日程にて研修会を開催しました。研修会ではグループワークやディスカッションなどを行い、入社から数年が経過した中で抱えている悩みの共有や、同期同士の絆を深めることができました。また当日の運営には若手組合員で構成された「ゾーンスタッフ」にも携わっていたいただき、多様な組合員の参加・参画に繋がる組織づくりをめざしました。



挑戦Ⅱ…機能性を高める
 《会社方針に関する労使座談会》
 イトーヨーカドー労働組合としては初めての試みとなる山本社長と中央執行委員による労使座談会を開催しました。当日は、会社のめざす方向性や現場視点で捉えた課題への対応など、多岐に渡る内容について山本社長にお答えいただき、改めて会社方針への正しい理解や現場の状況に対する相互理解を深める機会となりました。



挑戦Ⅲ…社会性を高める
 《政治を通じたより良い社会づくりへの参画》
 2023統一地方選挙が4月に施行され、各地域においては中央執行委員をはじめとする組合役員が政治活動に参画しました。その後も政策実現に向けた情報交換を各自自治体議員と継続しており、私たちの幸せ実現に向けて連携をより深め、活動を推進しています。



挑戦Ⅳ…連帯感を深める
 《健康促進の啓発への取り組み》
 健康な体づくりへの啓発活動として、IY労組の情宣誌「SANKA!」にセブン&アイ・ホールディングス健康保険組合とセブン&アイグループ各社の共同事業として1月～3月に行われた定期健康診断の結果をもとに生活習慣を見直すための特集ページを組みました。



〈第16期主な活動〉

※23年7月までの実績

セブン&アイ・フードシステムズ労働組合では、今年度「待ったなし！基本を徹底して変革を成功させよう!! ～人のつながりと本音で、さあ新時代へ～」をスローガンに活動を進めてまいりました。

コロナの出口が見えてきた中、組合員同士の顔合わせによる横のつながりをもとに本音の気持ちや声を集め、会社との協議を通じて本質的な問題解決に努めました。



セブン&アイ・フードシステムズ労働組合

■組合会議

今期の組合会議は原則集合形式で実施しました。

- ・大会（2回）
- ・三役会議（6回）
- ・中央執行委員会（12回）
- ・支部役員会議（5回）



■会社との協議

団体交渉をはじめ、制度、就業、運営等をテーマに様々な協議や意見交換を実施しました。

- ・賃金、一時金、業績インセンティブ
- ・正月勤務手当
- ・嘱託社員の処遇改善
- ・就業、労働時間
- ・パートナー社員人事制度、評価制度
- ・育休等、各種休暇制度
- ・運営面、人員面に関する意見交換



■その他

集合型のイベントや支部での企画再開し、顔合わせの活動を進めてきました。

- ・組合員集会
- ・外食マーケティングセミナー
- ・組合員意識調査
- ・組合員割 くもっと休日
- ・旅行補助キャンペーン
- ・7FSの森づくりボランティア
- ・地曳網イベント





ヨーク労働組合では、「明るく笑顔で元氣よく」新生「ヨーク」の明るい未来に向かって、仲間とともに新しい道をつくっていかうをスローガンに2023年度の活動をスタートしました。今年度重点活動として、「組織強化」「制度改革」「コミュニケーションの再構築」に取り組みました。

《2023年度主な活動》

◆組合会議

今年度は重点活動でもある「コミュニケーションの再構築」を踏まえ原則集合形式で実施。

- ・大会（2回）
- ・中央執行委員会（10回）
- ・支部長会議（月1回）
- ・各委員会活動（5月よりスタート）
- ・パートナー委員ミーティング（2月・4月）

◆労使協議

- ・営業時間について、年末年始営業について、草加店組合員の声、（10/10）
- ・年末年始営業について（12/1）
- ・年末年始総括（1/20）
- ・労働条件交渉（3/2・3/8・3/15）
- ・会社合併について（6/2）
- ・一時金団体交渉（6/8）
- ・新オペレーションについて（6/8）



◆組合研修

コロナ禍で実施できていなかった3年目・4年目組合員へ向け、組合研修を実施、また初めてとなるパートナー委員会も集合で実施することができました。

- ・新人組合員研修（7/11）
- ・2年目組合員研修（7/19）
- ・3年目組合員研修（7/21）
- ・4年目組合員研修（7/25）



◆レクリエーション活動

支部でのレクリエーションも再開し、各支部でバスハイイクや懇親会、歓送迎会などを実施



◆その他活動

- ・カンパ活動（埼玉県春日部市「子供の町」）
- ・神奈川県小田原市「ゆりかご園」
- ・アニバーサリーメッセージ
- ・情宣機関紙「ひろがり」月1回発行



- ・五月場所大相撲観戦（5/26・5/27）
- ・六高台支部バスハイイク（6/26）
- ・ホテルランチ（6カ所8日程）
- ・地曳網（7/28）
- ・花火大会（小田原・幕張・戸田公園）



イベント活動、その他活動

お買い物大抽選会(7月)

組合員へこれまでの感謝の気持ちを込めて、普段とはひと味違う新企画「丸大お買い物大抽選会」イベントを7月から開催しました。



BUYキャンペーン(12月)

労連企画と同時開催で「丸大BUYキャンペーン」を開催、組合員数を上回るたくさんの応募をいただきました。



5つ星キャンペーン(5月)

労使協働生産性向上運動「5つ星キャンペーン」を開催、予算達成に向けて労使一丸で取り組みました。



2023年度活動方針

より良い仕事 より良い暮らし
より良い未来を共に創ろう

業績改善と働きやすい職場づくり

就業改善を通じて自分時間の確保を

自分自身の成長でより豊かな人生を

楽しい企画でより充実した生活を



全丸大労働組合

全丸大労働組合では「働く仲間とともに成長し、新しい時代をともに目指そう」をスローガンに今期の活動を行なってきました。

組合会議・大会

□ 定期中央大会

2022年10月24日、万代シルパールにて第40回定期大会を開催いたしました。活動方針「より良い仕事、より良い暮らし、より良い未来をともに創ろう」を掲げ、今期の組合活動を行なってきました。

□ 臨時中央大会(2023年2月開催)

□ 中執会議

コロナ感染者数の減少、2類相当から5類への移行に伴い、中執会議を集合形式にて実施しました。現場や組合

2023年度活動報告

(2023年7月)



員の声・意見要望・課題を抽出し環境改善につなげることを最重点に取り組んでいます。(7月まで計13回開催)



労使協議、その他会議

□ 労使協議会

賃金、一時金、人事制度、就業、労働時間、休日取得、繁忙期の勤務体制などの内容について協議を行ないました。(7月まで計5回開催)

□ 丸大会議

毎週開催の経営会議に参加し、現場や組合員の声などを伝え、様々な課題改善に向けて労使協働で取り組んでいます。(週1回開催)





定期大会

10月「第37回サンエー労働組合定期大会」を自店の社員食堂にて開催。コロナ過での開催ながら営業中の最中10名の組合員の皆さまにご出席頂きました。

セブン&アイ労連の各単組の皆さま。日々の労働組合の諸活動、大変、お疲れ様でございます。早いもので今期の労働組合の活動も1年が経過しようとしております。

相変わらず我々「サンエー労働組合」の面々は小さい組織ながらも地域のお客様を大事にしなが、地域密着、地場仕入れでの地域商品の品揃え導入、地元文化地元の食べ方を提案しサンエーらしさを出しながら、近隣に多数ある競合店の中から、サンエーを選び、安心して買い物に来ていただけるお店作りを目指して営業しております。そんな中、今期のサンエー労働組合の諸活動を振り返りました。

コロナでの外出規制も若干緩和され、我々サンエーも労連活動に少しずつではありますがありますが、参加できるようになり、7月には「富士山の清掃」に2名が参加、「国内ステップアップセミナー」にも派遣し、同じ7&i労連の丸大さんを視察、北朝鮮の拉致被害問題の曽我ひとみさんとお会いでき、貴重な講演をいただきました。

その他にも、毎年開催のアニバーサリーの活動や、組合員さまへ年末・年始の労の労いで粗品の提供など、小さいながらも活動することができました。

新型コロナウイルス感染症が終息はしていませんが、ようやく緩和され、今後は少しずつですが、労連活動に参加



ミーデー

5月、石巻中瀬公園に有志が集まり「第94回ミーデー」が開催され、サンエー労働組合から7名が参加しました。石巻の各企業の労働組合の方たちと想いをひとつに団結を固めました。



アニバーサリー



富士山清掃

できるように尽力して参ります。

今期を振り返り、少数で小さな組織ですが、小さい組織だからこそ働いている組合員の声を聞き、コミュニケーションを通じて、組合員全員が気持ちをひとつにもっともっと強い組織、強いサンエー労働組合に成長することを目指します。



新潟視察



サンエー
労働組合



2023年度を振り返って

セブン&アイグループ労働組合連合会の皆さん、こんにちは。私たちヨークベニマル労働組合は今期「なかまのころろをつなぎ、私たちのありたい姿へ」をスローガンに活動を進めて参りました。今年度の春季労働条件闘争では、賃金および労働条件向上の要求と併せて、「働いて良かったと思える職場にするための提言について（要請書）」を提出いたしました。これまでも労使で様々な問題について協議し解決へ向けて努力してきましたが、未だ解決できていない課題が山積しております。従業員が更なる働きがいを持って生産性向上を果たすためにも早急に改善していかねばなりません。提言要請書には、これまでのブロック会議や支部大会、そして全組合員を対象にしたアンケートから頂いた意見を基に多くの組合員さんの具体的な意見を取り纏め、会社側へ提出しました。会社より団体交渉の場で回答を頂きましたが、今後

も「中央の労使協議会」の場で組合員の声や現場の実態を正しく伝えていくためにも労使委員会を立ち上げました。（会社人事・組合からは専門委員会から労働政策委員会メンバー）で定期的に会議を行い解決へ向け議論していきます。

新入組合員セミナー

今年度の新入社員を対象に、3つのテーマを基に新入組合員セミナーを開催いたしました。一つ目は、



「即現場で実践できる！笑撃コミュニケーション」をテーマに吉本興業の劇場を中心に漫才活動やユニバーサルスタジオジャパンでのMC活動を経て、放送作家に転身された日本初の漫才式セミナー講師としてWマコト氏によるスキルアップセミナーを開催。会場を巻き込んだ笑いの渦になりました。

二つ目に、売場で実践できる学びとしてコトPOP（黒画用紙にポス力を使って商品の売込み媒体）作成を行いました。商品の食べ方や魅力を伝えるための技



法や表現方法のルールを学び実際に体験することで今後の仕事に繋がる内容です。それぞれの個性あふれる作品を皆で共有し学びと交流を深めました。三つ目は、先輩社員との座談会を開催。各グループに中央執行委員が先輩社員として入り込み、入社後の困りごとや不安に感じていることについて相談会を実施。労働組合だからこそ出来る世話役活動を今後も継続していきたいと思えます。

2023年度

YBU支部長会議

7月には3年ぶりに全体集合形式の支部長会議を開催いたしました。友愛労働歴史館、館長の藤吉大輔様による「未来に向け労働組合が果たすべき役割」について講演をいただきました。私たちが抱えている現状の課題と今後の取り組みについて皆で真剣に聞き入りました。また、午後の部においては冒頭の「働いて良かったと思える職場にするための提言について（要請書）」について労使委員会での議論経過を共有と旧LFUとの統合初年度の取り組みである支部大会・統合イベントの開催についての振り返りを行いました。最後にブロック会議を開催し各ゾーン・ブロックの中央執行委員が中心となり、ゾーンブロックごとに抱えている課題や問題について議論を行いました。全支部集合形式の開催を通して執行部としても事務局を務めるにあたり、当たり前にしていたことや対応力についてコロナ禍の3年間で失ってしまった事を再認識する貴重な機会となりました。



これからも、全員で一致団結してYBUらしさを大切にしながら活動を進めていきたいと思えます。



赤ちゃん本舗 労働組合

「リアルなコミュニケーション」
の再確認

2023年活動スローガン「前進・漸進・善進未来へ全進」を前を向いて進歩しながら全員で強固な組織へ、の下、便利なオンラインツールを用いたコミュニケーションは活用しつつも、「体温を感じるリアルなコミュニケーション」をもっと大切にしよう！という方針としました。基幹会議である中央執行委員会を始めとして、研修会なども極力「リアル」に拘った活動が多くなりました。また、数年来強化してきた支部ミーティングも活発化が図れ、ここでも出た意見や要望を基に、今年の春季労働条件交渉では世間の追い風も受けながら、賃金改定率3.15%や付帯項目として家賃上限の改定、定年再雇用の年齢制限撤廃など、これまで以上の成果に繋がりました。

初開催！「リアル支部
ミーティング」で分会長の
親睦強化を図る！

活動の根源である支部ミーティングを更に活発化させるためには、分会長同士の関係性をもっと密にする必要性がありました。今期は通常オンラインでの支部ミーティングとは別に、リアルに膝を突き合わせて議論を行う場として「リアル支部ミーティング」を開催。オンラインとは一味違

い、各支部でより深い議論を交わすことが出来まし
た。また分会
長同士、担当
中執との親睦
も深まり、と
ても有意義な
ものとなりま
した。



新入組合員研修会も
「リアル」開催！組合知識と
仲間の関係強化を図る！

ここ数年はオンラインを中心に実施をしてきましたが、今期は伊藤研修センターでリアル開催を实行、新入組合員が参加することが叶いました。富士社会教育センター 田尻様のご講義や、ゼブン&アイ労連 小鷲事務局長からのご

講話を頂き、組合に対する知見が深まりました。また、会社側から味志社長のご来賓を賜り、労使一体となったとても有意義な研修会となりました。研修会後の歓迎会も大いに盛り上がり、仲間同士の絆が深まりました。



組織拡大に向けて、
いよいよ本番！分会長への
説明会を開催！

来期よりパート社員（契約社員）の組織化を控え、全分会長向けに説明会を開催。7月に大宮・新横浜・福岡・8月に新大阪の全4会場にて実施しました。組織拡大により当労組も組織率50%を超える予定。真に強い組織作りに向けて、これまで以上に丁寧な対応を行うべく、準備を進めています。



オルグ活動と生産性
向上運動は今年も重点項目
として継続実施！


今年も埼玉物流センターに中執メンバーのオルグ活動を実施し、当社で働く仲間として組合からも各種サポートを行いました。また「絶対！アカチャンホンポキャンペーン」を通じた生産性向上運動の強化を図り、今年も多くの参加を頂くことが出来ました。

①「個人の成長につながる活動」
一人ひとりのチャレンジをサポートし、社内外問わずビジネスパートナーとしての知識・スキルにつながるセミナーや、専門委員会等のグループ活動に取り組んでいます。

第19期重点活動の振り返り
(22年10月～23年8月)

第19期活動テーマ

一人ひとりの力を信じ、労働条件と雇用の場を守る



重点活動

個人の成長につながる活動

健康で安心して働ける環境づくり



- ◆ パートナーコミッティー (22年11月～23年8月)
労働組合の基本活動やパートナー人事制度を学び、コミュニケーションスキル向上セミナーの開催、自ら企画を計画し実行するなど取り組みました。
- ◆ 独学支援キャンペーン (22年11月～23年3月)
- ◆ 育児コミュニケーション (22年12月・23年5月)
* 出産育児休職者座談会 (23年5月)
- ◆ スクーリング支援「英会話・中国語」 (23年2月～8月)
- ◆ 栗石グラウンドセイコースタジオ 体験見学 (23年5月)
- ◆ オンライン海外流通視察セミナー in USA (23年6月)
- ◆ 財務セミナー (23年7月)
- ◆ マネープランセミナー
* 労使共催 (23年7月)
- ◆ 入社5年目研修 (23年8月)

当社株式譲渡に関わる「雇用維持」と「事業継続」についての情報開示・事前協議に向け「全員投票」を実施し『争議権の確立』を行いました。継続して労使での協議を進めています。

**闘争委員会と
団体交渉の継続実施**



- ②「健康で安心して働ける環境づくり」
人と人をつなげるコミュニケーションや、多様な価値観を互いに理解しあえる場面の創出、コンプライアンスが遵守され働き続けられる活動を進めています。
- ◆ 生産性向上
「ワンアクションチャレンジ」
* 労使共催 (23年7月から始動)
全社員へワンアクションチャレンジアプリを会社スマホへ配信。一人ひとりがチャレンジを通じて考え、挑戦し、実現していく取り組みを進めています。

「組織力を上げる」と「輪を広げる」Union Challenge 2022-2023



- ★「ユニオンサークル」始動の「はじめて」の機会&コミレク活動
- ・劇団四季ライオンキング観劇体験
- ・キャンプ体験
- ・ランニング教室体験
- ・夏休み自由研究体験 (お子様と一緒の活動)
- ★人材価値向上への挑戦「ITパスポート」取得推進活動
- ・ITパスポートセミナー開催
- ・「Union Challenge 通信」の発行



【第20期を振り返って】



「すべては魅力ある人と未来作りのために」。これはロフト労働組合が第16期から恒久的に掲げている活動テーマです。

2020年から様々な社会情勢によって大きな影響を受け続けましたが、我々の節目となる第20期である2023年、その情勢は新たな転換期を迎えました。どのような状況下であっても、我々が持つ「ロフトらしさ」を活かせば組合活動は滞りなくできる、この数年間を思い返せば、そのような自信にもつながった期間であったかもしれません。写真を中心に、この1年間の主な活動をご紹介します。

◆2022年 10月～12月

【第20期定期大会】

10月10日（水）第20期定期大会を実施。ご来賓として㈱ロフト安藤社長、セブアンドアイグループ労連小鷲事務局長にご臨席賜った他、初代執行委員長である齋藤様、初代執行副委員長である駒場様、初代書記長である吉田様にも祝辞をいただきました。



【春季労働条件改定交渉】

大きな注目を集めた2023年の条件交渉。弊組の組合役員も例年とは情勢が異なっていた交渉の中で、組合員のために奔走しました。



◆2023年 5月～8月

【国会議事堂見学】

5月17日（水）に国会議事堂および参議院議員会館内の見学を実施。「大人の社会科見学」と銘打った企画に、久々の集合開催にも関わらず、全国から多くの組合員が参加しました。当日は川合議員、田村議員、堂込議員にもご講演いただき、我々の生活と政治との関わりを直接感じていただきました。



【第4回臨時大会】

夏季賞与に関する組合決議を行った第4回臨時大会では、ハイブリッド形式を継続しつつも、現地を中心にした運営方法に挑戦しました。

大会後は学びの場の提供として、パラアスリートの葭原滋様にご登壇いただき、ブラインドサッカーの体験を通じた相互理解を学びました。「相手の気持ちになって考える」ということは、言うが易し、行うが難し。実際の体験を通じて学ぶ点が多く、体験会の終わりには葭原様に対する感謝の拍手が鳴りやみませんでした。



ロフト労働組合

は、我々だけではなく、㈱ロフトとともにこれまで培ってきた「ロフトらしさ」を活かした活動をこれからも続けて参ります。今後ともよろしくお願いいたします。





【能力開発企画】

6月20日（火）入社5年以内の本社員を対象に能力開発企画として、お取引先様である「肉の万世 秋葉原本店レストラン」で昼食会を開催しました。全店で取り扱っている商品の知識向上と普段、なかなか交流出来ない若年層の組合員同士でのコミュニケーションの場として企画しました。当日は、各職場区から新入社員も含め10名が参加し、それぞれ知識の向上や組合員の交流について好評の意見を多数もらいました。



6月26日（月）には、全組合員を対象に物流センター見学会を開催しました。物流センターの仕組みを学ぶことで在庫の削減や品切れ防止等の会社政策をより深く理解し、日々の業務に役立つ機会にすることを目的として企画しました。今後も、若年層社員同士が交流できる企画

やパートナー組合員の知識向上を目的としたコミュニケーション活動や研修活動を実施していきます。

【BUYガーデン
キャンペーン】

毎年、労使共催で開催している生産性向上をテーマとした自社商品購買運動を今期も開催し、全社員を対象に12月の繁忙期に合わせ実施しました。3,000円で1口から応募条件とし、各職場区の組合員を中心に多くの方々が参加し、総応募口数は、約500件となりました。当選した20名には、景品としてごつお便を送りました。

【労働組合20周年記念式典】

7月20日（木）今年でシェルガーデン労働組合は、2003年9月に西武百貨店労働組合支局から独立し、一企業一組合として誕生してから20年の節目を迎えることが出来ました。これまで組合を支えていただいた組合員、組合員OBのみならず感謝の気持ちを込めて記念式典を開催しました。式典は、1部と2部に分かれ、1部では、前取締役代表社長の稲富様が「シェルガーデン創業から今日までを振り返る」をテーマに基調講演を開催しました。2部では、記念パーティを開催し、各職場区の組合員・歴代の執行委員長・書記長をはじめとする元執行部・会社幹部の方々など約70名が参加し

ました。また、ご来賓としてセブン&アイ労働組合連合会から渡邊会長、寺岡副会長、小鷲事務局次長にご参加いただき、渡邊会長と寺岡副会長からは、それぞれ祝辞をいただきました。1部・2部とも参加者から好評の声を多くいただき、これからの組合活動をより活発にさせることを執行部で確認しました。



セブン&アイグループ労働組合連合会第45回定期大会開催について

日程：2023年9月29日(金)13：00～17：00 会場：東天紅上野本店



労連事務局長
小鷲良平

日頃、加盟組合の皆さんには労連活動に対するご理解とご協力をいただきありがとうございます。また、2023年度の活動も様々な環境変化へ対応しながら進めてきました。コロナ禍以前に戻りつつある環境への対応に臨機応変にご対応いただいたことについても感謝を申し上げます。

第45回定期大会の開催に向けて、議案の確認をはじめ、機関会議を通して進めております。大きな変革が迫っている時代の中で、個々の事業会社の存在意義を社会に広く示すことにより社会の評価が利益という形に変わり、ワークエンゲージの向上と生産性の改善を目指すための活動計画を立案しています。

いつの時代も、様々な変化があっても「涸れた井戸から水は汲めない」の考え方に常に立ち返りながらグループの成長を力強く支えることのできる強い組織づくりに向けた活動に挑戦していきます。大きな変革を迎える1年になりますが、環境変化を正しく認識し、加盟組合の皆さんの積極的な参加・参画につながるよう第45回定期大会での活動方針の提案に向けた協議を進めてまいります。また、今年度は3年ぶりにコロナ禍以前の形に戻し、ご来賓や代議員の皆様へ会場へ集合いただく形式で開催いたします。単組ごとに代議員をご派遣いただき、ご対応いただきますようお願いいたします。

第45回定期大会開催告示

労連規約第15条ならびに議事運営細則に基づき、下記の要領にて第45回定期大会を開催することを通知する

— 記 —

と き：2023年9月29日(金)

と ころ：東天紅・上野本店

内 容

【報告事項】

- ・2023年度活動報告
- ・2023年度会計報告

【議案】

- 第1号議案 2024年度活動方針
- 第2号議案 2024年度活動予算
- 第3号議案 2024年度中央役員を選出
- 第4号議案 顧問の委嘱
- 第5号議案 功労者表彰
- 第6号議案 第27回参議院議員選挙必勝決議

2024年度中央役員選挙告示

労連規約第27条ならびに選挙細則にもとづき、選挙管理委員会を設置し、下記の要領にて2024年度中央役員の立候補を受け付ける

— 記 —

受付期間：2023年9月10日～9月20日

方 法：立候補ならびに推薦候補の二方法とする

手 段：加盟組合を通じて所定様式をもって届け出る

選挙管理委員長



Vol.36

令和5年9月8日発行

東京都千代田区二番町8-8 (03) 6238-3941 発行人/渡邊健志 編集人/小鷲良平

セブン&アイグループ労働組合連合会